

アイザワ証券グループ株式会社

2025年3月期第3四半期

# 決算説明資料

2025年1月

証券事業、投資事業が好調 営業収益、利益ともに増加

単位：百万円

	24年3月期3Q累計	25年3月期3Q累計	前年同期比
営業収益	13,473	15,215	+12.9%
純営業収益	12,914	14,854	+15.0%
営業利益	514	1,315	+155.7%
経常利益	1,109	1,841	+66.0%
税引前利益	1,637	3,894	+137.7%
親会社株主に帰属する純利益	1,135	2,760	+143.0%

## ▶ ハイライト

第3四半期（会計期間）の営業収益は前四半期（2025年3月期第2Q）比24.0%増の56億81百万円、  
営業利益は10億9百万円、経常利益は11億82百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同73.4%増の12億33百万円  
となりました。

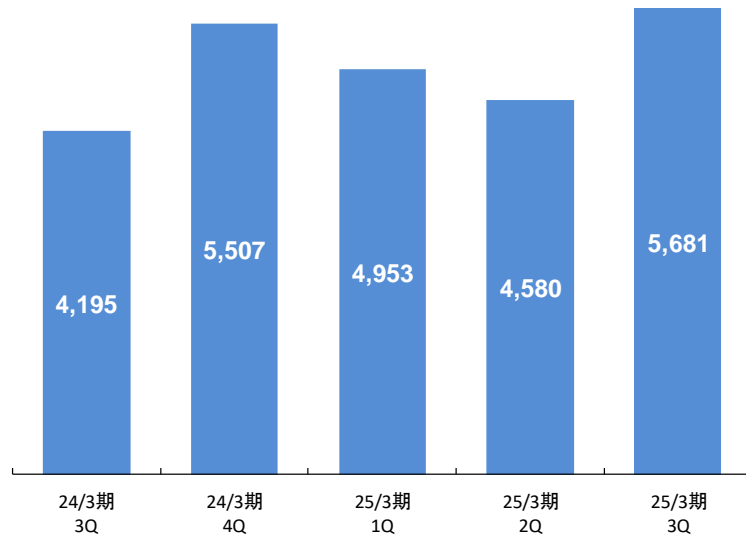
1株当たり純資産（BPS）は第3四半期末時点で1,434.09円となりました。

## ▶ 決算概要

	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	24/3期3Q比 増減率	25/3期2Q比 増減率	24/3期3Q 累計	25/3期3Q 累計	前年同期比 増減率
営業収益	4,195	5,507	4,953	4,580	5,681	35.4%	24.0%	13,473	15,215	12.9%
純営業収益	3,923	5,277	4,872	4,354	5,627	43.4%	29.2%	12,914	14,854	15.0%
販売費・一般管理費	4,123	4,632	4,524	4,396	4,618	12.0%	5.1%	12,399	13,538	9.2%
営業利益又は営業損失	△199	645	348	△42	1,009	-	-	514	1,315	155.7%
経常利益	58	832	612	46	1,182	-	-	1,109	1,841	66.0%
親会社株主に帰属する 純利益	211	1,840	815	711	1,233	484.6%	73.4%	1,135	2,760	143.0%
総資産	117,934	124,119	123,128	118,622	129,891	10.1%	9.5%	-	-	-
純資産	55,940	58,657	48,067	47,492	47,573	△15.0%	0.2%	-	-	-
EPS(円)	5.63	49.05	24.33	22.88	39.72	-	-	30.23	86.64	-
BPS(円)	1,415.13	1,498.42	1,450.96	1,427.11	1,434.09	-	-	-	-	-

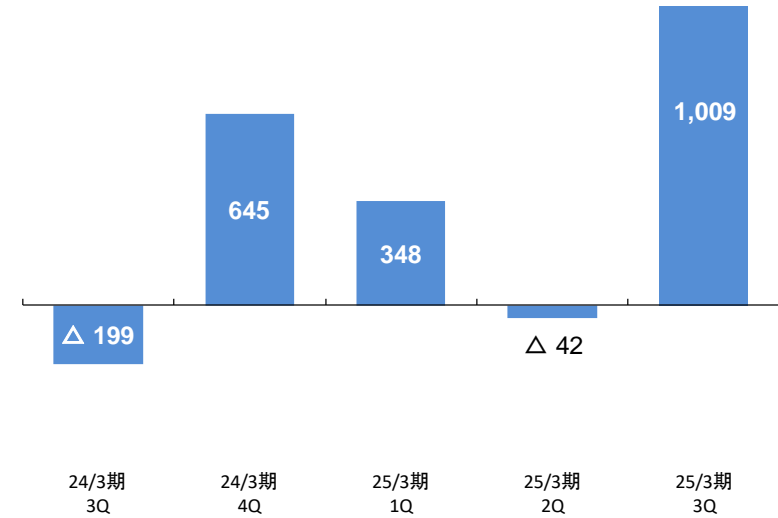
営業収益の推移

(百万円)



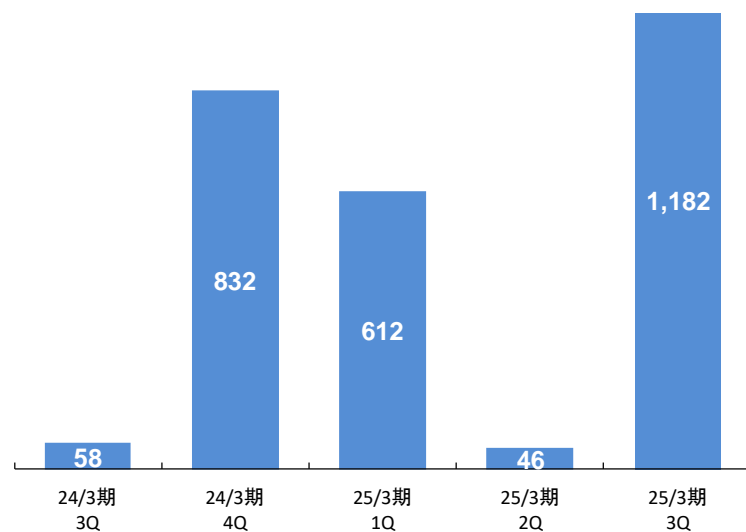
営業利益の推移

(百万円)



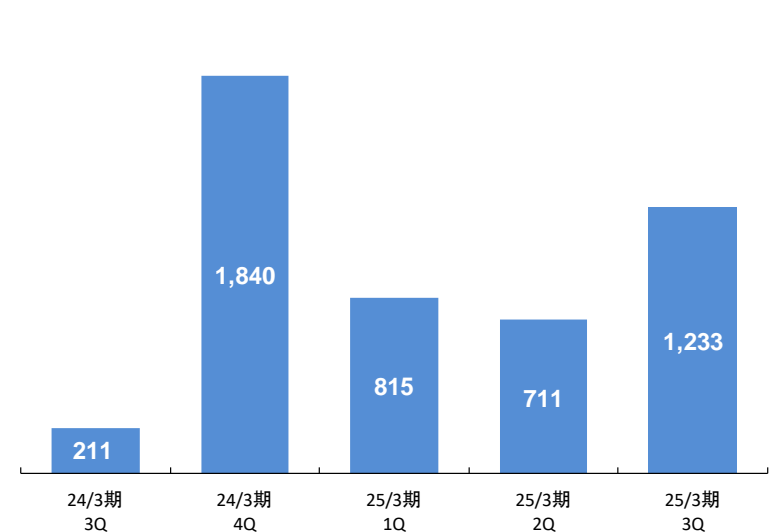
経常利益の推移

(百万円)



純利益の推移

(百万円)



## 証券事業

お客様の資産形成をサポートするため、資産運用コンサルティング等を行う

（百万円） 前年同期比

営業収益	13,760	+7.3%
税引前利益	627	△25.2%

- スtock商品の増加により営業収益が順調に増加
- インフレや取引増加に伴う費用増加の影響で税引前利益は減少

アイザワ・インベストメンツ株式会社

## 投資事業

有価証券、不動産、成長企業に対して自己投資を行う

（百万円） 前年同期比

営業収益	1,224	+144.0%
税引前利益	3,022	+358.7%

- 投資ファンドの営業収益増加
- 投資ポートフォリオの入替により投資有価証券売却益計上

あいざわアセットマネジメント  
AIZAWA ASSET MANAGEMENT

## 運用事業

機関投資家を中心にオルタナティブ運用等の運用サービスを提供

（百万円） 前年同期比

営業収益	293	+64.9%
税引前利益	△103	—

- 運用するファンドの経費を運用事業にて計上



当社は、自己株式取得や特別配当により、資本を適正な水準に圧縮し効率的なバランスシートの構築を目指しております。また、社債の発行を通じて、資本効率重視の財務戦略を実行しております。

## ▶ 貸借対照表（抜粋）

(百万円)

	23/3期 期末	24/3期 3Q	24/3期 期末	25/3期 3Q	前期末比
<b>資産の部</b>					
流動資産	63,533	78,905	84,030	90,525	7.7%
現金・預金	14,142	22,296	23,991	30,050	25.3%
預託金	20,908	24,380	27,632	28,207	2.1%
営業投資有価証券	10,521	11,501	11,291	11,211	△0.7%
トレーディング商品	207	217	232	277	19.3%
約定見返勘定	615	1,850	1,326	1,242	△6.3%
信用取引資産	15,692	16,394	17,209	16,099	△6.4%
信用取引貸付金	15,314	16,107	16,870	15,808	△6.3%
立替金	56	944	99	541	444.2%
短期差入保証金	-	-	-	758	-
その他の流動資産	1,389	1,319	2,245	2,135	△4.9%
固定資産	35,291	39,023	40,085	39,365	△1.8%
有形固定資産	9,936	10,779	10,850	11,059	1.9%
賃貸不動産	8,245	9,110	9,165	9,201	0.4%
無形固定資産	100	25	33	28	△15.7%
投資その他の資産	25,253	28,219	29,201	28,277	△3.2%
投資有価証券	23,439	25,287	26,066	25,383	△2.6%
貸倒引当金	△ 3	△ 11	△ 11	△ 8	-
繰延資産	10	5	3	-	-
創立費	0	0	-	-	-
開業費	9	5	3	-	-
<b>資産合計</b>	<b>98,835</b>	<b>117,934</b>	<b>124,119</b>	<b>129,891</b>	<b>4.7%</b>

	23/3期 期末	24/3期 3Q	24/3期 期末	25/3期 3Q	前期末比
<b>負債の部</b>					
流動負債	34,365	50,016	52,952	70,305	32.8%
トレーディング商品	90	-	-	-	-
信用取引負債	1,516	3,300	7,312	1,604	△78.1%
信用取引借入金	726	2,633	6,505	1,075	△83.5%
有価証券担保借入金	2,927	2,198	1,401	3,750	167.5%
預り金	16,760	30,293	28,808	42,561	47.7%
顧客からの預り金	14,359	18,371	21,757	21,538	△1.0%
その他の預り金	2,400	11,922	7,050	21,023	198.2%
受入保証金	5,099	5,767	5,639	5,605	△0.6%
短期借入金	6,445	6,445	6,045	12,730	110.6%
短期社債	-	-	-	2,000	-
固定負債	10,293	11,830	12,349	11,852	△4.0%
長期借入金	5,588	6,433	6,347	6,089	△4.1%
繰延税金負債	4,318	4,967	5,572	5,307	△4.8%
特別法上の準備金	146	146	160	160	0.1%
金融商品取引責任準備金	146	146	160	160	0.1%
<b>負債合計</b>	<b>44,804</b>	<b>61,994</b>	<b>65,462</b>	<b>82,318</b>	<b>25.7%</b>
<b>純資産の部</b>					
株主資本合計	44,162	43,892	45,513	35,136	△22.8%
うち自己株式	△ 5,471	△ 5,959	△ 6,179	△ 16,876	-
その他の包括利益累計額	6,834	8,913	10,141	9,413	△7.2%
その他有価証券評価差額金	6,579	8,054	9,337	8,561	△8.3%
非支配株主持分	3,033	3,134	3,002	3,023	0.7%
<b>純資産合計</b>	<b>54,030</b>	<b>55,940</b>	<b>58,657</b>	<b>47,573</b>	<b>△18.9%</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>98,835</b>	<b>117,934</b>	<b>124,119</b>	<b>129,891</b>	<b>4.7%</b>

- 当社は、中期経営計画（Define Next 100~もっとお客様のために~）を策定しております。各種施策を通して当社経営理念「より多くの人に証券投資を通じより豊かな生活を提供する」を実現し、中長期的な企業価値の向上を目指しています。
- 中期経営計画に基づく各種施策により、中期経営計画で掲げたKPIの多数の項目について進捗がみられる（次ページご参照）なかで、特にROEについては目標の8%を下回っており、より一層の企業価値向上への取組強化が求められていると認識しております。
- 一方で、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の一つである株主還元強化等の発表により、PBRは1.24倍となっており、1倍を超えた水準で推移しております。

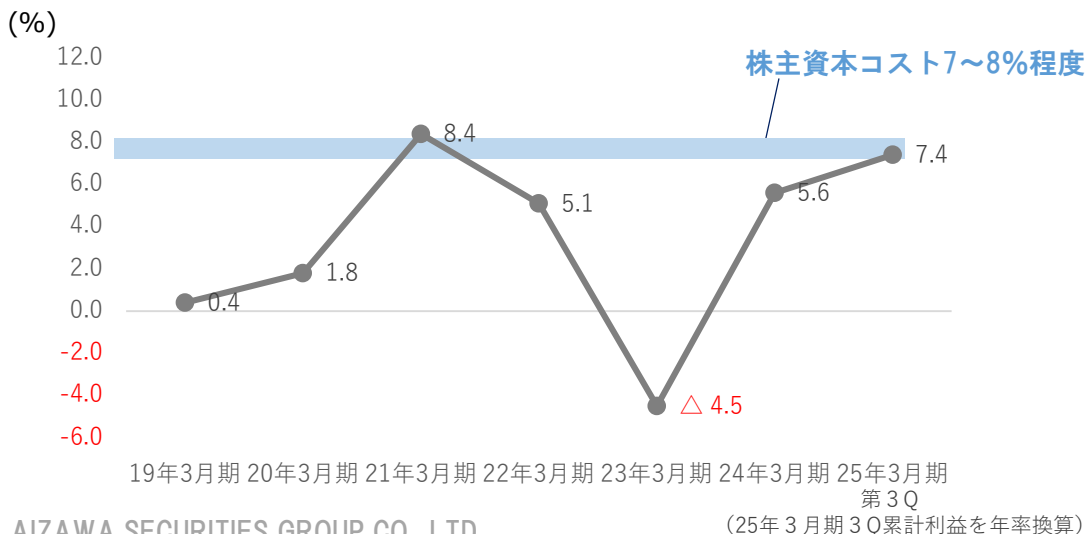
▶ 当社が認識する資本コスト

24/12末の株主資本コスト **7~8%程度と推定\***  
 \*CAPMによる計算

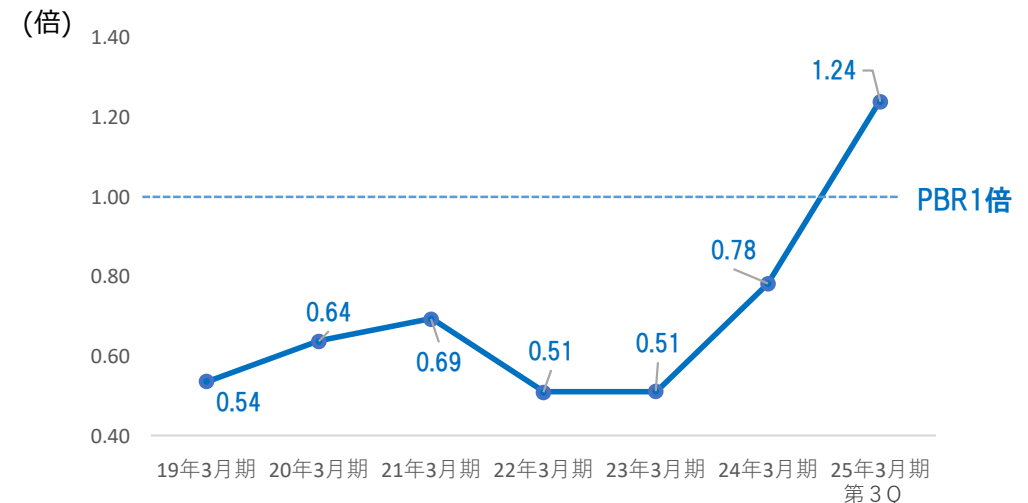
\* 株主資本コストのCAPM計算式に用いた変数

リスクフリーレート： 10年国債直近利回り  
 マーケットリスクプレミアム： 配当込TOPIXの過去25年間の年次換算  
 (2008リーマンショック除く)  
 β値： 対TOPIX修正ベータ

▶ 当社ROEの推移



▶ 当社PBRの推移



- 「徹底的なお客様目線」、「ブローカレッジビジネスから資産形成ビジネスへ」、「プラットフォームビジネスの拡大」、「グループ連携の強化」等の基本方針に沿った各種施策を実施したことにより、証券事業の預り資産は過去最高額となる2兆583億円で目標の2兆円以上を達成しました。また、固定費カバー率も、2024年12月単月に過去最高数値の54.9%となり、目標である50%以上を達成しております。
- 一方、KPI目標を現状下回っているROE水準の改善をはじめ、資本コストの低減、期待成長率の向上をさらに押し進める必要があると認識しています。

▶ 中期経営計画のKPI

KPI	目標 (2025/3末)	現状 (2024/12末)
ROE	8%以上	7.4% (25年3月期3Q累計利益を年率換算)
固定費カバー率 (証券事業)	50%以上	<b>54.9%</b> (24年12月単月) (※25年3月期3Q累計平均 44.1%)
預り資産 (証券事業)	2兆円以上	<b>2兆583億円</b>
投資資産残高 (投資事業)	450億円	369億円
セカンダリーファンド運用残高 (運用事業)	100億円	72億円



- 当社は、企業価値向上とそれを通じたPBR改善に向け、株主還元の強化に加え事業運営面でも「ROE向上」、「資本コスト低減」、「期待成長率の向上」の3点を意識し、具体的な取組み（次ページ以降ご参照）を引き続き強化していきます。
  1. ROE向上                      中期的な当期利益向上、事業別リスク・リターンの向上、適切な株主還元の継続
  2. 資本コスト低減              グループ全体の収益水準・利益水準の安定化、IR活動の充実
  3. 期待成長率の向上              証券事業の改革強化、グループ事業の収益性向上による期待成長率の向上

▶ 具体的な取組方針

成長戦略

金融商品取引事業  
 （証券事業）の変革加速

投資・運用事業の強化

プラットフォームビジネスの強化  
 （10ページご参照）

人的資本経営へ向けた取組強化

財務戦略

株主還元の強化

財務レバレッジの活用  
 （12ページご参照）

資本配賦・資本収益性管理  
 の整備・強化

IR/サステナビリティ

株主・投資家との対話の増加

IRコンテンツの充実

サステナビリティへの取組み  
 （14ページご参照）



企業価値の向上 / 株価評価の向上

- 金融商品取引事業（証券事業）、投資事業、運用事業、金融商品仲介事業について、成長戦略に取り組んでいきます。
  1. 金融商品取引事業（証券事業）の変革加速
  2. 投資・運用事業の強化
  3. プラットフォームビジネスの強化
  4. 人的資本経営へ向けた取組強化

### 金融商品取引事業（証券事業）の変革加速

- 「資産運用・資産形成の伴走者」（投資運用助言・フォローアップのプロフェッショナル）を目指す
- 自社ファイナンシャルアドバイザー、金融商品仲介業者（IFA）、地域金融機関の3つのチャンネルを併用強化
- 「人によるコンサルティング」を最大の強みとして提供し、ゴールベースアプローチ型営業と地域密着を徹底強化
- 「事業推進本部」を新設、営業企画・商品企画、システム・ツール開発、地域密着施策、ブランディング等を一括して推進する体制とし、証券事業の預り資産連動型収益中心の収益構造への転換を加速

### 投資・運用事業の強化

- アイザワ・インベストメンツとあいざわアセットマネジメントのガバナンス上の独立性は維持しつつ、投資・運用・リスク管理等に関する両社リソースの統合を開始
- 投資・運用両事業全体のリスク・リターンの向上を目指す

### プラットフォームビジネスの強化

- IFA事業の中期事業計画を策定、システム投資と人材育成をエンジンに中長期で預り資産5,000億円規模のビジネスを目指す
- 金融機関連携RM担当役員を設置する等連携体制を大幅に強化、佐賀共栄銀行との会社分割（簡易吸収分割）契約締結  
他にも多くの地域金融機関との連携を協議中

### 人的資本経営へ向けた取組強化

- SDGs目標8「働きがいも経済成長も」に沿った各種施策の実施
  - ① 経営戦略とのつながりを重視するとともに社員の自律的な成長を支援するCDP（キャリア・デベロップメント・プログラム）を推進、個人の適性・希望を考慮し、能力開発やキャリア開発をサポート
  - ② ダイバーシティ推進の観点から女性キャリアステップアップ研修の実施
  - ③ 社員の会社への愛着度（エンゲージメント）を重視し、定期的に全社員を対象とした調査を実施し、社員が生き生きと働ける環境整備を推進
  - ④ 社員の健康診断受診100%、人間ドック受診等を通じ、健康経営を推進

- アイザワ証券では、全国の保険ビジネスを主業務とする金融商品仲介業者を中心に、コンプライアンス体制の構築から営業サポートまで、プラットフォーマーとして対面証券会社の強みを活かした支援を行っています。
- 保険代理店を中心に150社の金融商品仲介業者と契約を締結し、ご登録いただいている契約外務員は2,000名を超えました。

## JR九州保険コンサルティング株式会社 との金融商品仲介業に関する業務委託契約締結

アイザワ証券株式会社は、JR九州保険コンサルティング株式会社と金融商品仲介業に関する業務委託契約を締結しました。JR九州保険コンサルティングは、2023年に九州旅客鉄道株式会社の営む保険代理店業を承継したJR九州のグループ会社です。本業務委託契約の締結により、JR九州グループ社員の福利厚生及び地域の皆様に対し、投資信託等の金融商品を含めた総合金融サービスを同社と協力して提供してまいります。また同時に、同社の金融商品仲介業の

## ≡ アイザワ証券



立ち上げや定着のため、同社と緊密に連携し、サービス提供体制の構築や教育研修等の支援を行います。

## IFAカンファレンスの開催

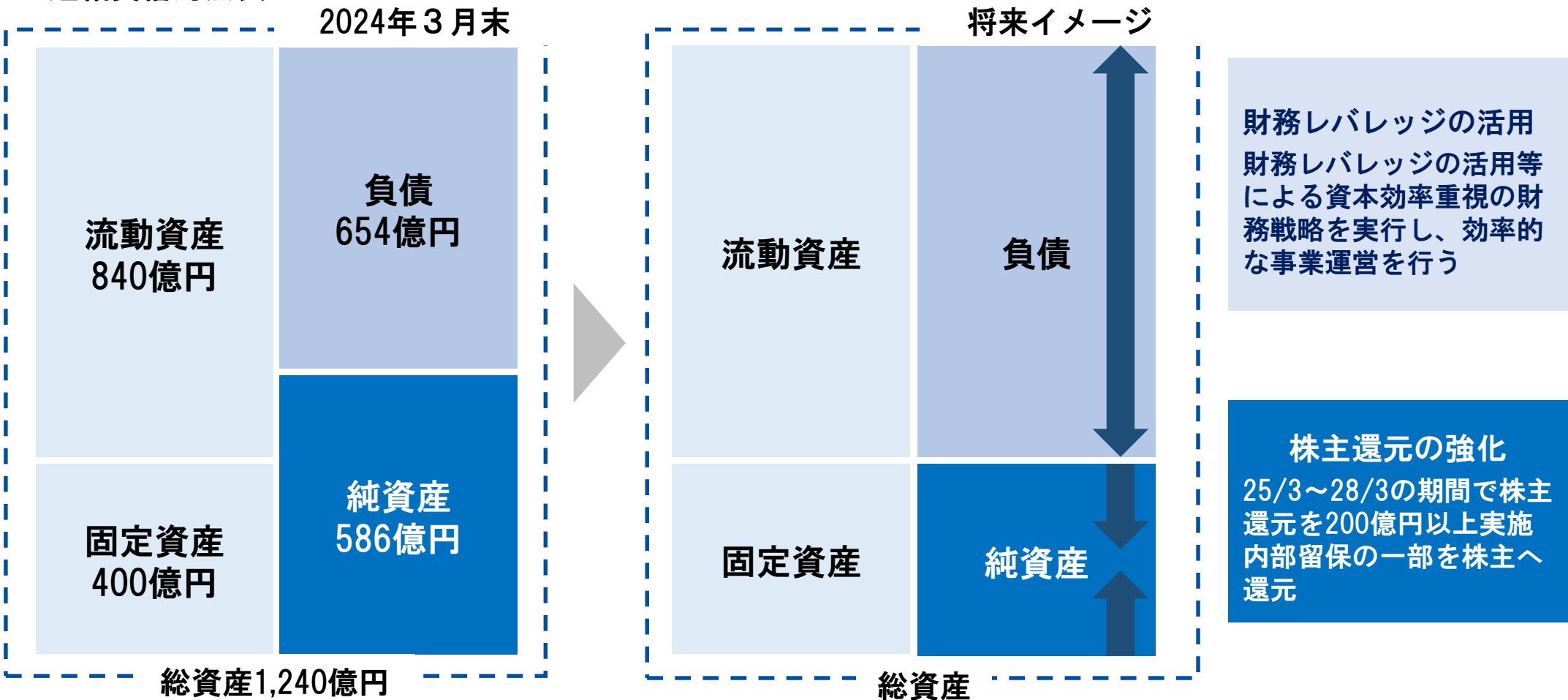
アイザワ証券株式会社は、2024年11月15日(金)に契約金融商品仲介業者の代表者様など約150名をお招きし、IFAカンファレンスを開催しました。関東財務局の方や著名人をゲストにお招きした講演会を行い、改めてアイザワ証券のIFAビジネスの取り組み方・考え方や今後の方向性をお伝えしました。

また、講演会終了後には懇親会を行い、金融商品仲介業者様同士の交流を図りました。



- 事業に必要な自己資本を適正な水準に維持しつつ、株主還元の強化により資本を適正な水準に圧縮し、適切なバランスシートを構築していきます。
- 過大な純資産は持たず、適正水準まで圧縮するため、株主の皆様の一部内部留保を還元し、2025年3月期～2028年3月期までに株主還元を総額200億円以上実施する予定です。

▶ 連結貸借対照表



- 2024年10月18日に社債に係る発行登録を行うことを取締役会にて決議し、同日に発行登録書を提出しました。  
 資金調達手段の多様化による財務安定性の向上を企図し、当社グループの将来の成長に必要な資金を機動的に調達できる体制を構築することを目的としたものです。
- 2024年12月末時点において、第2回まで社債を発行しております。今後の社債発行については、マーケット環境を考慮しながら、起債時期、金額、年限等を柔軟に検討してまいります。

## 社債の発行について

### 発行登録内容

発行予定額	発行予定期間	資金用途
300億円	発行登録の効力発生日（2024年10月28日）から2年を経過する日（2026年10月27日）まで	一般運転資金、連結子会社を含む投融資資金及び既存債務の返済資金等に充当する予定

※なお、発行予定額とは発行予定期間（2年間）における発行額の上限を意味します。

### 発行済み社債

社債の名称	社債の総額	各社債の金額	利率	払込金額	償還金額	発行月	償還期限
アイザワ証券グループ株式会社 第1回無担保社債	金5億円	金5百万円	年1.10%	各社債の金額100円 につき金100円	各社債の金額100円 につき金100円	2024年 11月	2025年11月28日 (1年債)
アイザワ証券グループ株式会社 第2回無担保社債	金15億円	金5百万円	年1.10%	各社債の金額100円 につき金100円	各社債の金額100円 につき金100円	2024年 12月	2025年12月23日 (1年債)

- 当社は、IR、サステナビリティに積極的に取り組み、地域と社会に貢献していきます。
  1. 株主・投資家との対話の増加
  2. IRコンテンツの充実
  3. サステナビリティへの取り組み

### 株主・投資家との対話の増加

- 当社は、株主・投資家との長期的な信頼関係を構築することが重要であると考え、一定の株数を保有する株主との対話を実施
- 株主との対話を通じて、認識された意見や課題について経営陣で共有し、中長期的な企業価値向上を目指す

### IRコンテンツの充実

- 株主・投資家に分かりやすい開示資料を目指し、IRコンテンツを充実
- 英文開示をより一層充実し、決算短信や決算説明資料以外の個別開示資料についても英文開示を拡充

### サステナビリティへの取り組み

- 気候変動に対する取り組みとして、TCFD提言に基づく情報開示の拡充、温室効果ガス排出量の削減に取り組む
- 地方自治体や教育機関、地域金融機関と連携し、金融教育を積極的に推進、中長期投資や分散投資の効果等の説明といった投資に関する基礎的な情報等を発信し、自らの資産形成を考える社会全体の金融リテラシー向上に貢献

- 社会貢献活動の一環として福祉事業所による職域販売会の受入を実施しました。
- 教育機関への金融授業を実施し、金融リテラシーの向上に注力しております。

### ショコラボ・グループによる社内販売会の実施

アイザワ証券株式会社の本社にて社員を対象としたチョコレート販売会を実施しました。3時間を予定していたチョコレート販売は開始40分で完売し、約100名の社員がチョコレートを購入しました。開催企業であるショコラボ・グループは、福祉事業所で全国初のチョコレート工房として生まれ、福祉と民間で総勢約100名のスタッフ（うち約60名が障がい者手帳を保有）が、チョコレート菓子を中心としたスイーツの製造・販売を行っております。当社グループは、同社の活動に賛同するとともに、引き続き社会貢献活動に努めてまいります。



### 青森山田高等学校のスポーツコース生徒向けに金融投資授業を開講

アイザワ証券株式会社と青森山田高等学校は2023年度より包括連携協定を結び、本校ITビジネス科の生徒に対し、年間を通して全12回の特別授業を行っております。

このたび年間の授業とは別枠で、本校スポーツコース生徒向けの金融授業を実施しました。

本講義では、今後の経済状況を含め、将来取得するお金をどのように扱っていくべきか、学生のうちから自身で考えることを目的としております。

当日は社員による講演他、投資を疑似体験いただけるコンテンツを実施しました。



# 参考データ

---

## 連結



## ▶ ハイライト

第3四半期（会計期間）のセグメント別営業収益内訳は、証券事業は前四半期（2025年3月期第2Q）比12.8%増の47億78百万円、投資事業は同162.4%増の7億62百万円、運用事業は同153.5%増の1億73百万円となりました。

## ▶ セグメント情報内訳

（百万円）

	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	24/3期3Q比 増減率	25/3期2Q比 増減率	24/3期3Q 累計	25/3期3Q 累計	前年同期比 増減率
<b>セグメント別営業収益連結計</b>	4,195	5,507	4,953	4,580	5,681	35.4%	24.0%	13,473	15,215	12.9%
証券事業	4,015	5,119	4,747	4,235	4,778	19.0%	12.8%	12,827	13,760	7.3%
投資事業	127	320	170	290	762	500.6%	162.4%	501	1,224	144.0%
運用事業	64	94	51	68	173	169.4%	153.5%	178	293	64.9%
その他調整	△ 11	△ 26	△ 16	△ 13	△ 33	-	-	△ 34	△ 63	-
<b>セグメント別営業利益連結計</b>	△ 199	645	348	△ 42	1,009	-	-	514	1,315	155.7%
証券事業	79	636	325	△ 27	285	259.6%	-	885	583	△34.1%
投資事業	△ 227	8	70	△ 113	667	-	-	△ 229	624	-
運用事業	△ 61	△ 39	△ 71	△ 65	53	-	-	△ 174	△ 83	-
その他調整	9	40	23	164	3	△67.6%	△98.1%	33	191	468.2%
<b>セグメント別税引前利益連結計</b>	248	2,687	1,051	1,066	1,776	614.3%	66.6%	1,637	3,894	137.7%
証券事業	△ 79	635	355	△ 42	313	-	-	838	627	△25.2%
投資事業	139	1,989	706	980	1,335	860.5%	36.2%	658	3,022	358.7%
運用事業	△ 61	△ 43	△ 81	△ 61	39	-	-	△ 158	△ 103	-
その他調整	250	106	70	189	87	△65.1%	△53.9%	298	347	16.4%

▶ ハイライト

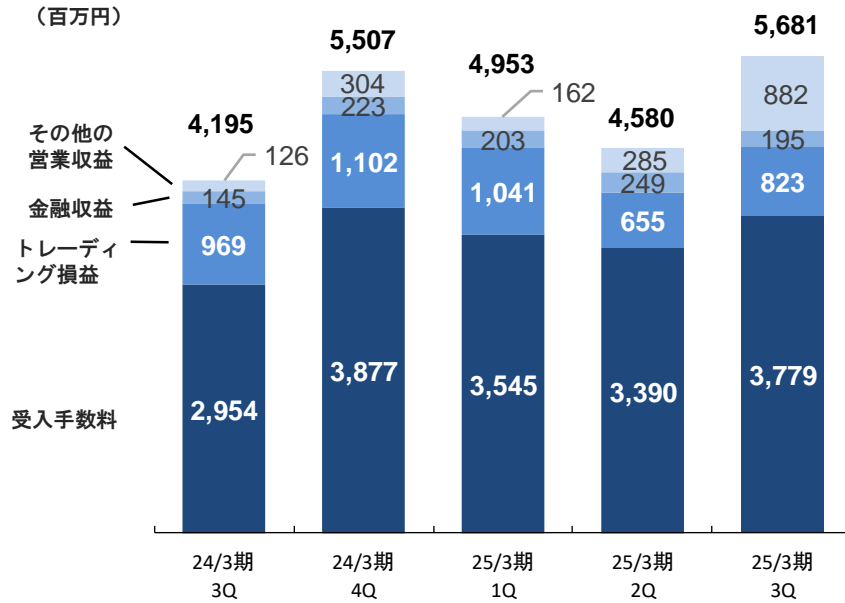
第3四半期（会計期間）の受入手数料は、前四半期（2025年3月期第2Q）比11.5%増の37億79百万円となりました。トレーディング損益は同25.6%増の8億23百万円、金融収益は同21.5%減の1億95百万円となりました。その他の営業収益は、投資ファンドの営業収益計上により同209.3%増の8億82百万円となりました。

▶ 営業収益の内訳

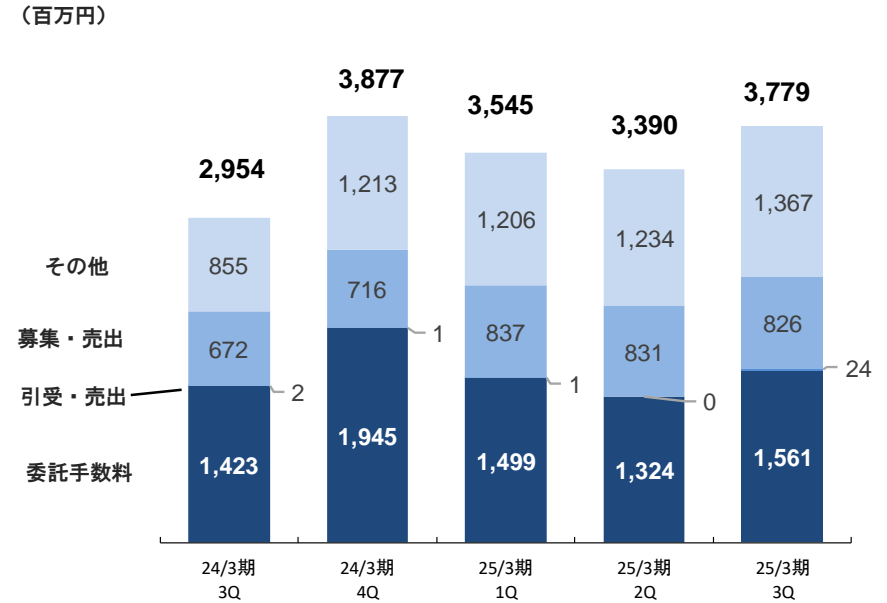
	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	24/3期3Q比 増減率	25/3期2Q比 増減率	24/3期3Q 累計	25/3期3Q 累計	前年同期比 増減率
営業収益	4,195	5,507	4,953	4,580	5,681	35.4%	24.0%	13,473	15,215	12.9%
受入手数料	2,954	3,877	3,545	3,390	3,779	27.9%	11.5%	9,347	10,714	14.6%
委託手数料	1,423	1,945	1,499	1,324	1,561	9.6%	17.9%	4,789	4,385	△8.4%
引受・売出	2	1	1	0	24	990.4%	-	8	26	206.8%
募集・売出	672	716	837	831	826	22.9%	△0.6%	1,920	2,494	29.9%
その他	855	1,213	1,206	1,234	1,367	59.8%	10.8%	2,628	3,807	44.9%
トレーディング損益	969	1,102	1,041	655	823	△15.0%	25.6%	3,185	2,521	△20.8%
株券等	828	982	863	496	723	△12.6%	45.9%	2,695	2,084	△22.7%
債券等	54	36	70	53	24	△54.7%	△53.5%	166	148	△10.6%
為替等	85	82	107	106	75	△12.3%	△29.3%	323	288	△10.7%
金融収益	145	223	203	249	195	34.4%	△21.5%	454	648	42.7%
その他の営業収益	126	304	162	285	882	595.4%	209.3%	485	1,330	174.0%



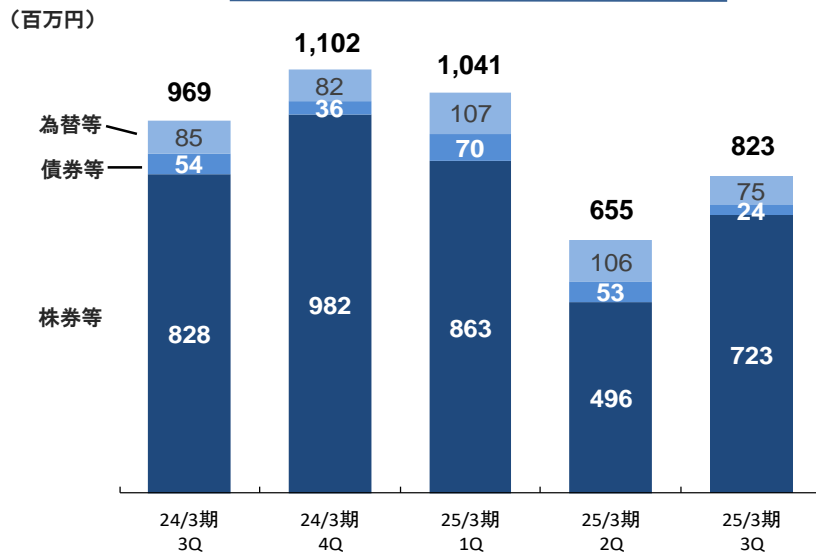
営業収益の内訳の推移



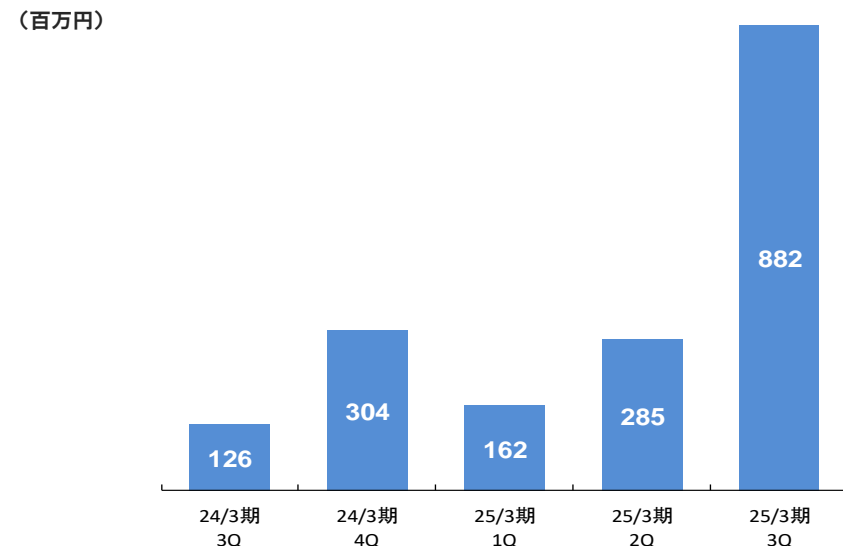
受入手数料の科目別内訳の推移



トレーディング損益の推移



その他の営業収益の推移



▶ ハイライト

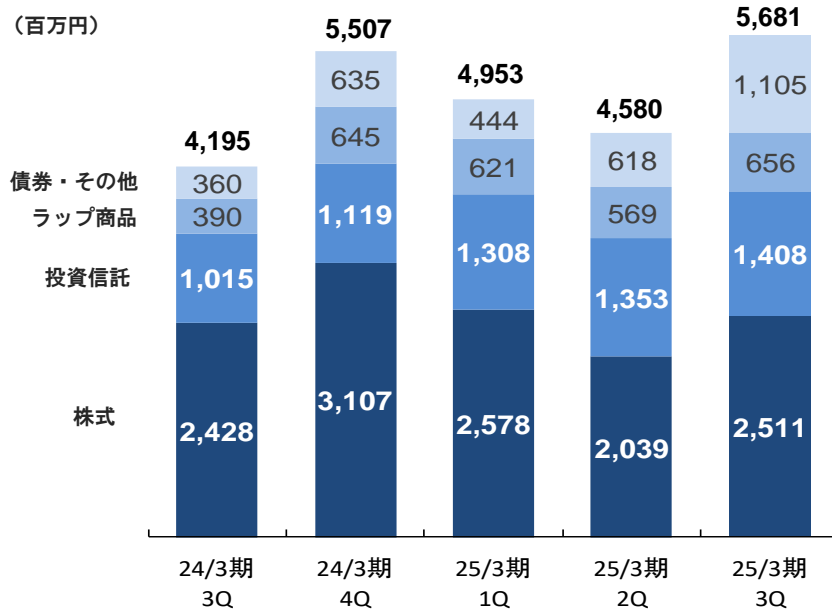
中長期的な資産形成ビジネスを推進するため、ストック商品の残高増加を図っています。  
 平均残高が増加したことにより投資信託の収益は前四半期（2025年3月期第2Q）比4.1%増となりました。  
 ラップ商品の収益は同15.2%増となりました。

▶ 営業収益の商品別内訳

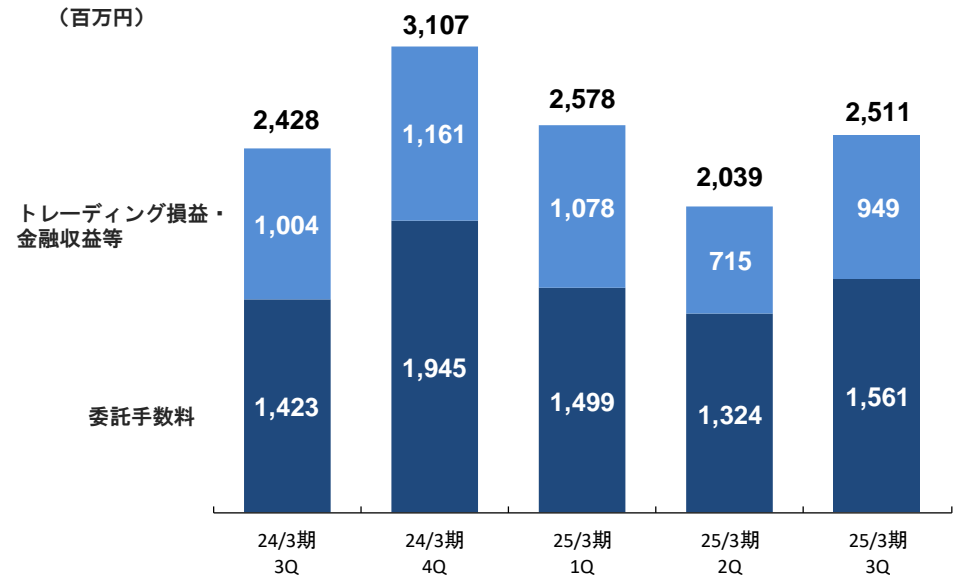
	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	24/3期3Q比 増減率	25/3期2Q比 増減率	24/3期3Q 累計	25/3期3Q 累計	前年同期比 増減率
営業収益	4,195	5,507	4,953	4,580	5,681	35.4%	24.0%	13,473	15,215	12.9%
株式	2,428	3,107	2,578	2,039	2,511	3.4%	23.1%	8,076	7,128	△11.7%
委託手数料	1,423	1,945	1,499	1,324	1,561	9.6%	17.9%	4,789	4,385	△8.4%
トレーディング損益・ 金融収益等	1,004	1,161	1,078	715	949	△5.4%	32.8%	3,287	2,743	△16.5%
投資信託	1,015	1,119	1,308	1,353	1,408	38.7%	4.1%	2,866	4,070	42.0%
募集手数料	666	716	837	831	826	23.9%	△0.6%	1,915	2,494	30.3%
信託報酬等	348	403	471	521	582	66.9%	11.6%	950	1,575	65.7%
ラップ商品	390	645	621	569	656	68.0%	15.2%	1,282	1,846	44.0%
固定報酬・信託報酬	273	269	288	291	287	5.4%	△1.4%	813	868	6.7%
成功報酬	117	376	332	277	368	213.4%	32.7%	468	978	109.0%
債券	56	38	72	55	27	△51.5%	△50.6%	172	155	△9.9%
不動産	107	123	124	127	123	14.0%	△3.1%	325	374	14.8%
営業投資有価証券	18	180	37	158	759	-	379.9%	158	955	503.3%
その他	177	292	210	278	196	10.2%	△29.6%	591	684	15.8%



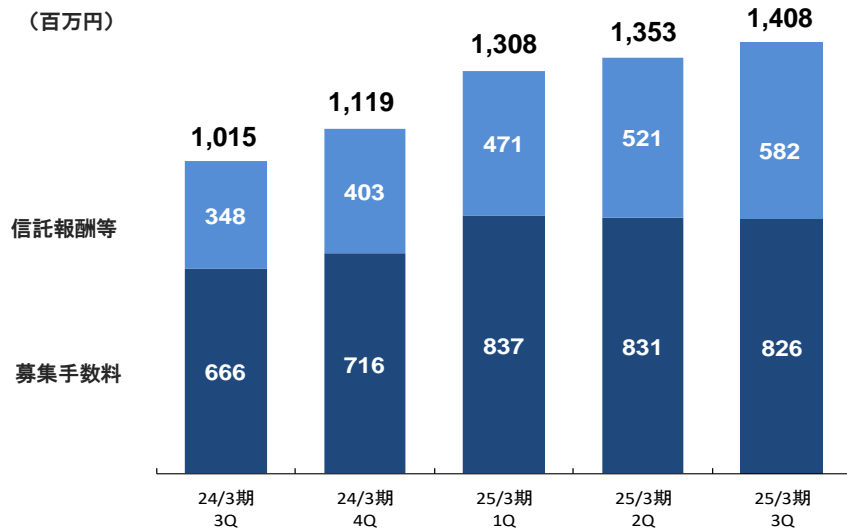
営業収益の商品別内訳の推移



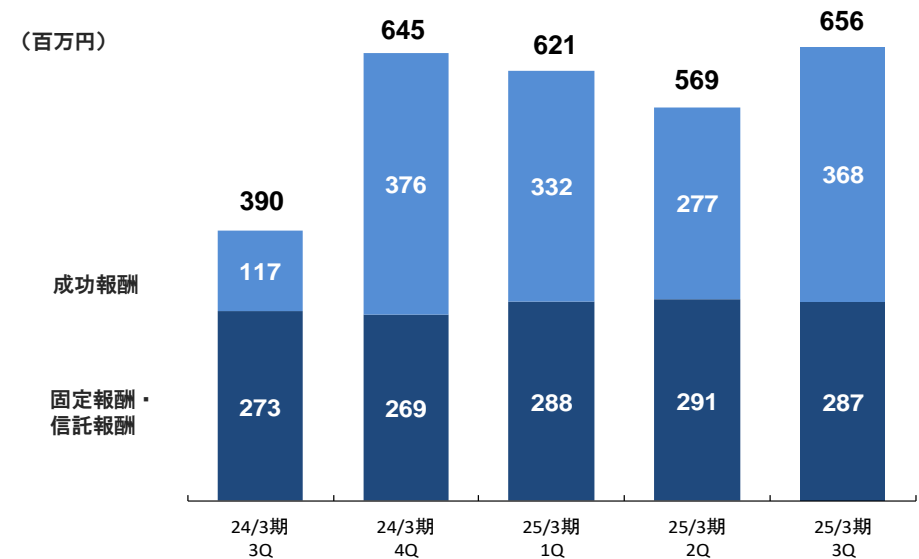
株式の内訳の推移



投資信託の内訳の推移

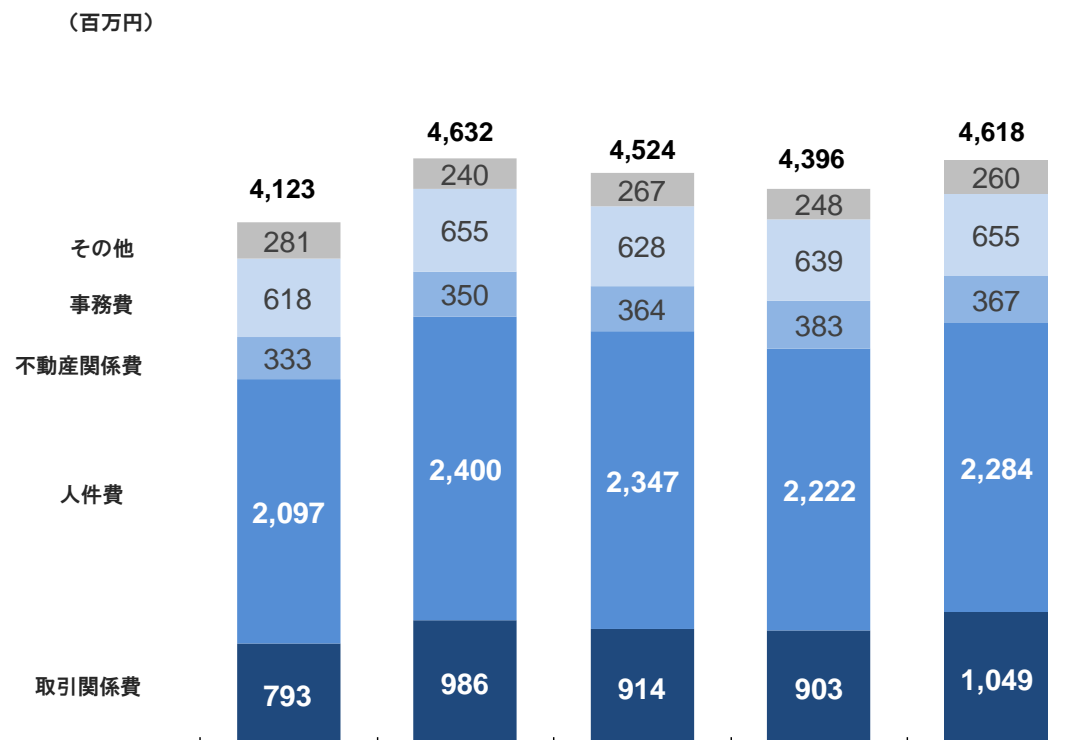


ラップ商品の内訳の推移



▶ 販売費・一般管理費の推移

▶ ハイライト



第3四半期（会計期間）の販売費・一般管理費は、前四半期（2025年3月期第2Q）比5.1%増の46億18百万円となりました。

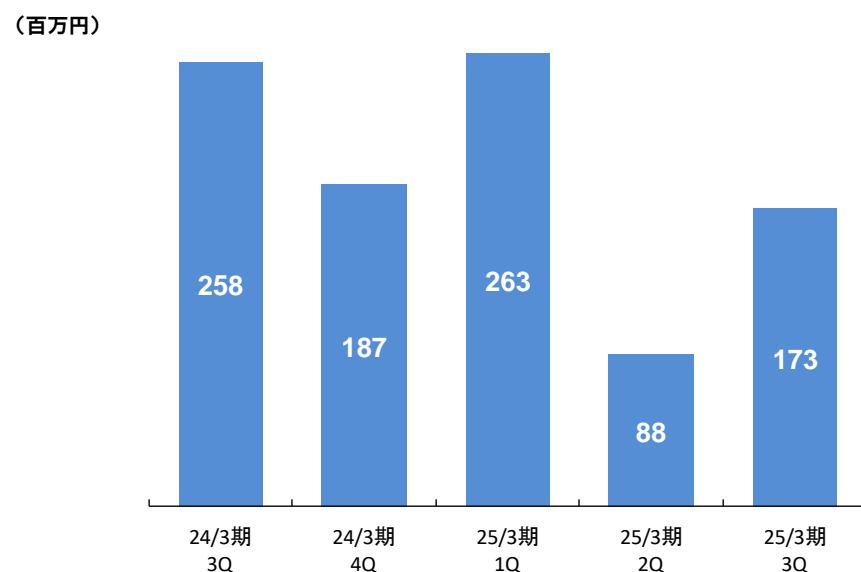
販売費・一般管理費のうち、取引関係費は、お客様の取引増加等に伴う各種費用の増加が影響し、同16.2%増の10億49百万円となりました。

	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	24/3期3Q比 増減率	25/3期2Q比 増減率	24/3期3Q 累計	25/3期3Q 累計	前年同期比 増減率
<b>販売費・一般管理費</b>	4,123	4,632	4,524	4,396	4,618	12.0%	5.1%	12,399	13,538	9.2%
取引関係費	793	986	914	903	1,049	32.3%	16.2%	2,364	2,866	21.3%
人件費	2,097	2,400	2,347	2,222	2,284	8.9%	2.8%	6,511	6,854	5.3%
不動産関係費	333	350	364	383	367	10.4%	△4.1%	1,028	1,116	8.5%
事務費	618	655	628	639	655	6.1%	2.6%	1,759	1,924	9.4%
その他	281	240	267	248	260	△7.2%	5.2%	737	777	5.4%
↳ (減価償却費)	53	64	62	70	65	22.6%	△7.7%	152	198	30.7%

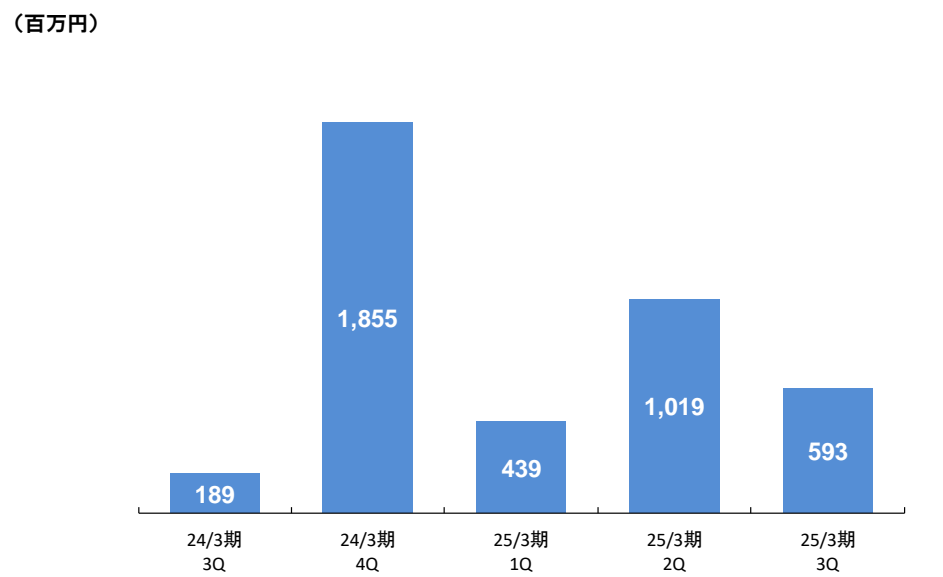
▶ ハイライト

第3四半期（会計期間）の営業外収益は受取配当金等により前四半期（2025年3月期第2Q）比76.2%増の2億29百万円、営業外費用は同36.0%増の56百万円、差し引き営業外損益は同94.9%増の1億73百万円となりました。特別利益は投資有価証券売却益により同42.4%減の5億93百万円となり、特別損益は同41.8%減の5億93百万円となりました。

▶ 営業外損益の推移



▶ 特別損益の推移



	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	24/3期3Q比 増減率	25/3期2Q比 増減率	24/3期3Q 累計	25/3期3Q 累計	前年同期比 増減率
<b>営業外損益</b>	258	187	263	88	173	△33.1%	94.9%	595	525	△11.6%
営業外収益	274	217	316	130	229	△16.4%	76.2%	637	675	6.0%
営業外費用	15	30	52	41	56	262.4%	36.0%	42	149	253.9%
<b>特別損益</b>	189	1,855	439	1,019	593	212.9%	△41.8%	528	2,052	288.5%
特別利益	203	2,006	695	1,029	593	191.5%	△42.4%	558	2,319	315.2%
特別損失	13	151	256	10	△0	-	-	30	266	781.1%

# アイザワ証券

---

## 単体

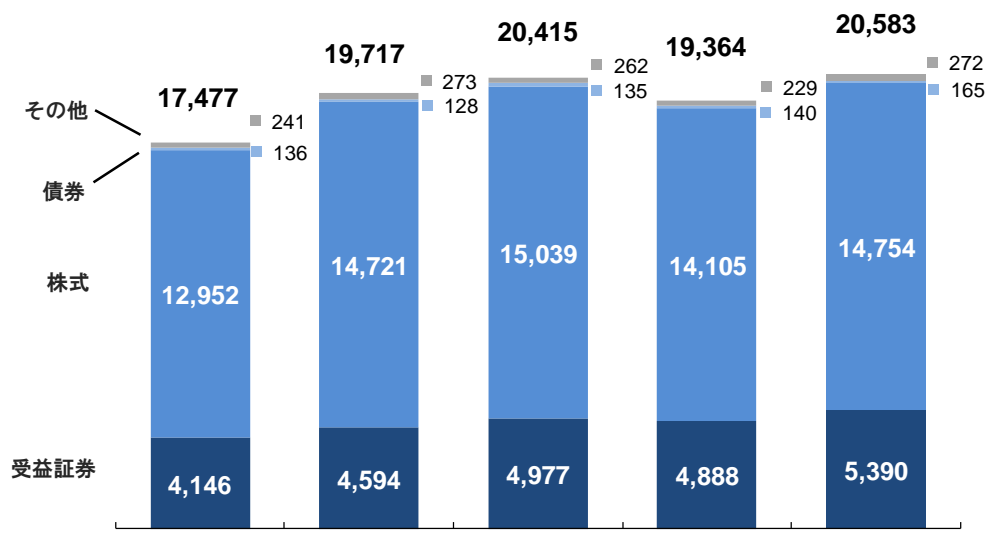


## ▶ ハイライト

総預り資産は前四半期（2025年3月期第2Q）比6.3%増の2兆583億円となりました。  
 中長期的な資産形成ビジネスを推進するため、ストック商品の残高増加を図っています。  
 スtock商品（投資信託とラップ商品の合計）は、同10.4%増の4,344億円となりました。

## ▶ 総預り資産の内訳と推移

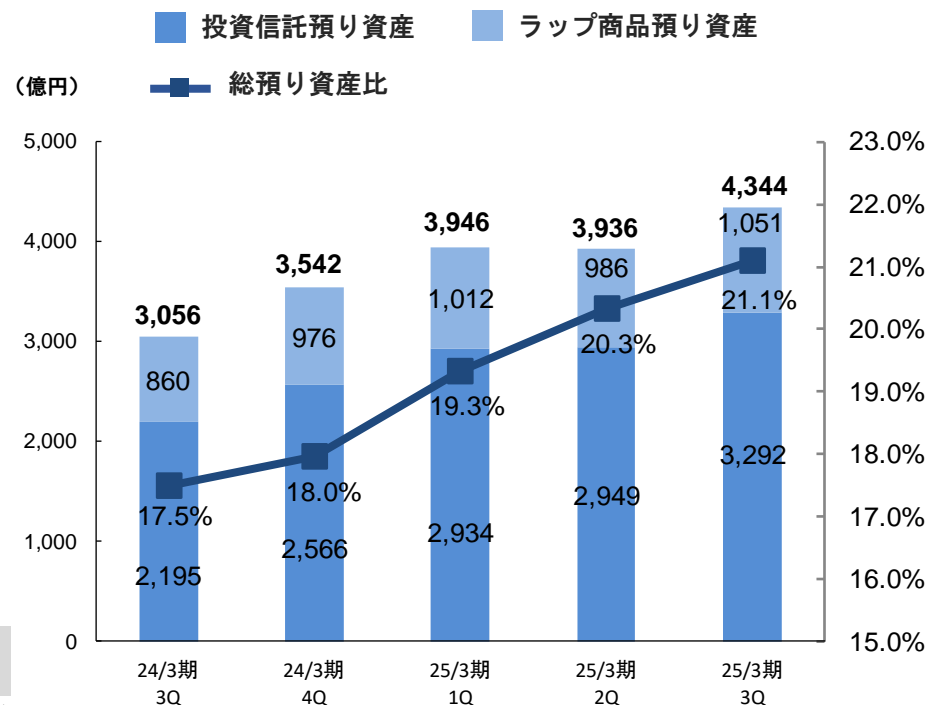
（億円）



（億円）

	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期2Q比 増減率
総預り資産	17,477	19,717	20,415	19,364	20,583	6.3%
受益証券	4,146	4,594	4,977	4,888	5,390	10.3%
└ 投資信託	2,195	2,566	2,934	2,949	3,292	11.6%
└ ラップ商品	860	976	1,012	986	1,051	6.6%
株式	12,952	14,721	15,039	14,105	14,754	4.6%
債券	136	128	135	140	165	17.7%
その他	241	273	262	229	272	18.7%

## ▶ スtock商品の預り資産の推移



※ スtock商品は投資信託とラップ商品の合計  
 ※ 投資信託は、MRF及び上場ETF、ファンドラップ、スマイルゴールを除く  
 ※ ラップ商品は、投資一任運用サービス契約資産時価（詳細は次ページ参照）

## ▶ 契約資産と契約件数の推移

契約資産(時価)(百万円)、件数(件)

		24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 2Q比 増減率
アイザワSMA スーパー ブルーラップ	契約資産 (時価)	22,094	29,319	30,676	29,902	32,079	7.3%
	件数	1,103	1,186	1,272	1,337	1,350	1.0%
アイザワSMA ブルーラップ	契約資産 (時価)	1,461	1,793	1,763	1,636	1,692	3.4%
	件数	158	153	146	144	140	△2.8%
アイザワ ファンドラップ	契約資産 (時価)	61,199	63,791	61,244	56,724	54,556	△3.8%
	件数	6,652	6,457	6,182	5,951	5,596	△6.0%
スマイルゴール	契約資産 (時価)	1,313	2,714	7,535	10,428	16,849	61.6%
	件数	192	463	944	1,426	2,172	52.3%
合計	契約資産 (時価)	86,069	97,618	101,220	98,692	105,177	6.6%
	件数	8,105	8,259	8,544	8,858	9,258	4.5%

## ▶ ハイライト

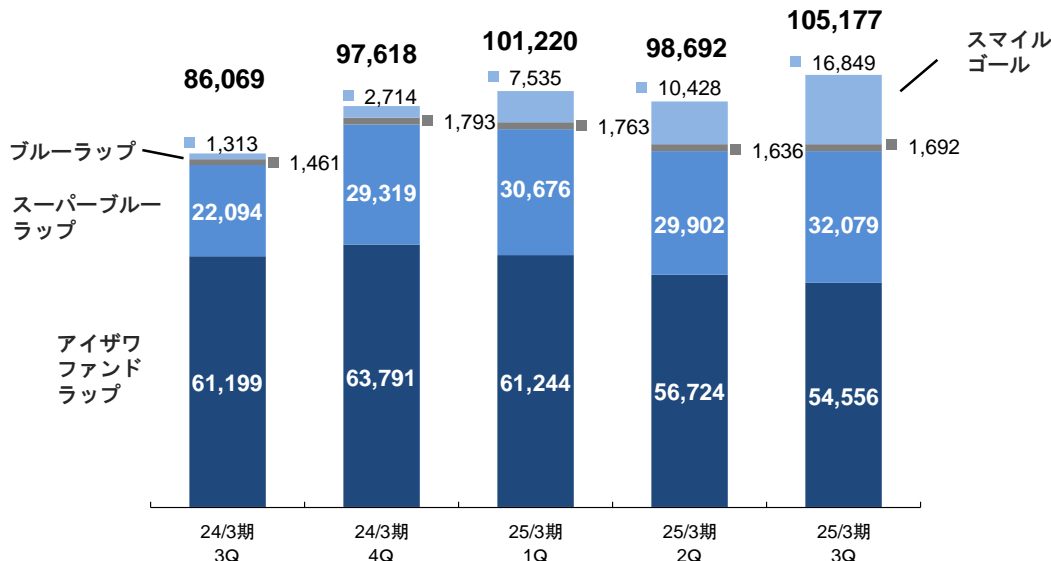
資産形成ビジネスにおける戦略商品として、投資一任運用サービス（ラップ商品）に注力しており契約資産は合計で1,051億円、契約件数9,258件となりました（2024年12月末現在）。

お客様の長期的なライフプランの実現をサポートする、ゴールベースアプローチ型ラップサービス（愛称：スマイルゴール）は、契約資産は168億円、契約件数2,172件となりました（2024年12月末現在）。

2023年8月の販売開始から、契約資産・契約件数は好調に推移しております。

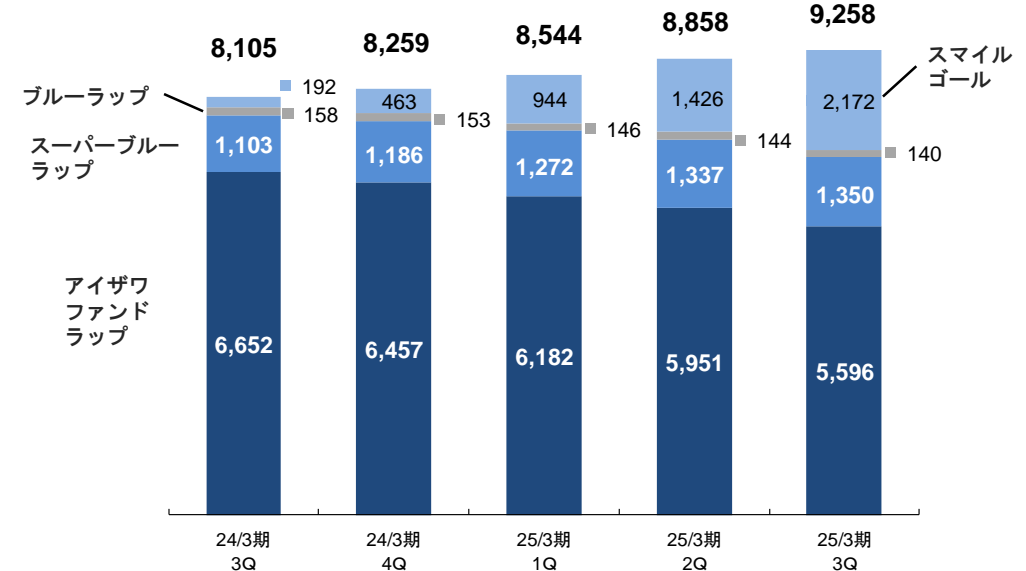
## 契約資産の推移

(百万円)



## 契約件数の推移

(件)

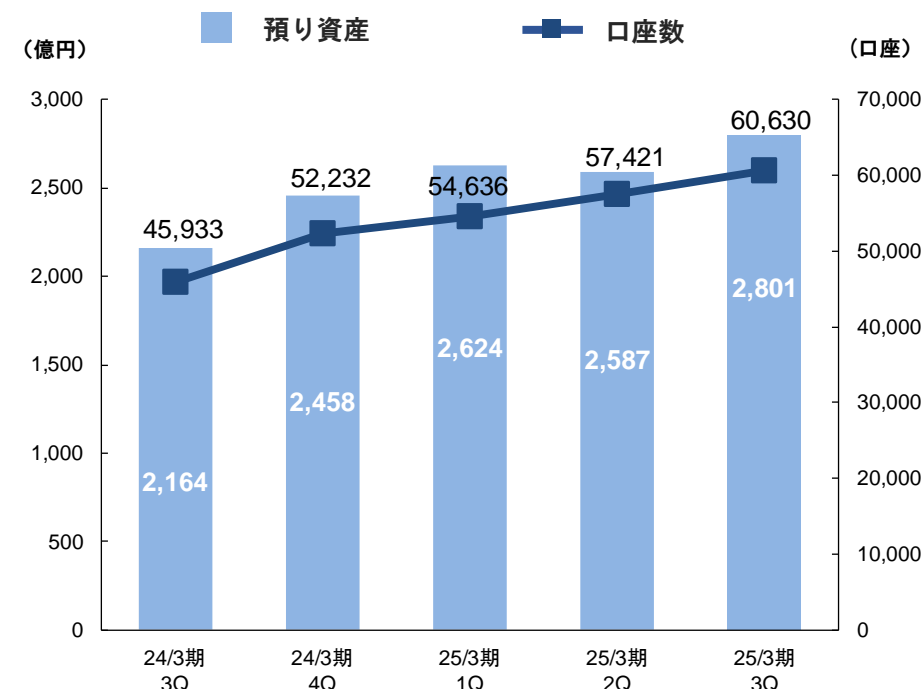
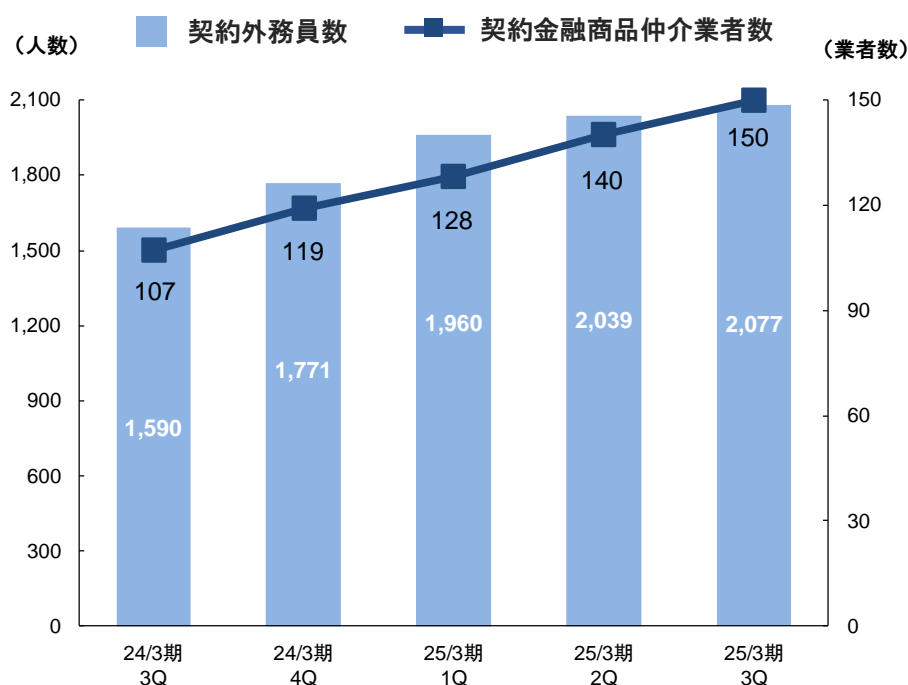


## ▶ IFAビジネスの推移

	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 2Q比 増減率
契約金融商品仲介業者数 (社)	107	119	128	140	150	7.1%
契約外務員数 (人)	1,590	1,771	1,960	2,039	2,077	1.9%
預り資産 (億円)	2,164	2,458	2,624	2,587	2,801	8.3%
└ 金融機関連携	332	396	456	479	539	12.5%
└ IFA	1,831	2,061	2,168	2,109	2,262	7.3%
└ ライフデザインパートナーズ	1,023	1,161	1,181	1,088	1,144	5.1%
口座数 (口座)	45,933	52,232	54,636	57,421	60,630	5.6%
└ 金融機関連携	24,360	27,219	27,275	27,993	29,491	5.4%
└ IFA	21,573	25,013	27,361	29,428	31,139	5.8%
└ ライフデザインパートナーズ	5,582	5,976	5,672	5,802	5,976	3.0%

## ▶ ハイライト

当社グループは中期経営計画において、「プラットフォームビジネスの拡大」を基本方針としています。IFAの預り資産は前四半期（2025年3月期第2Q）比7.3%増、口座数は同5.8%増となりました。金融機関連携（株式会社西京銀行、株式会社佐賀共栄銀行）の預り資産は同12.5%増、口座数は同5.4%増となりました。



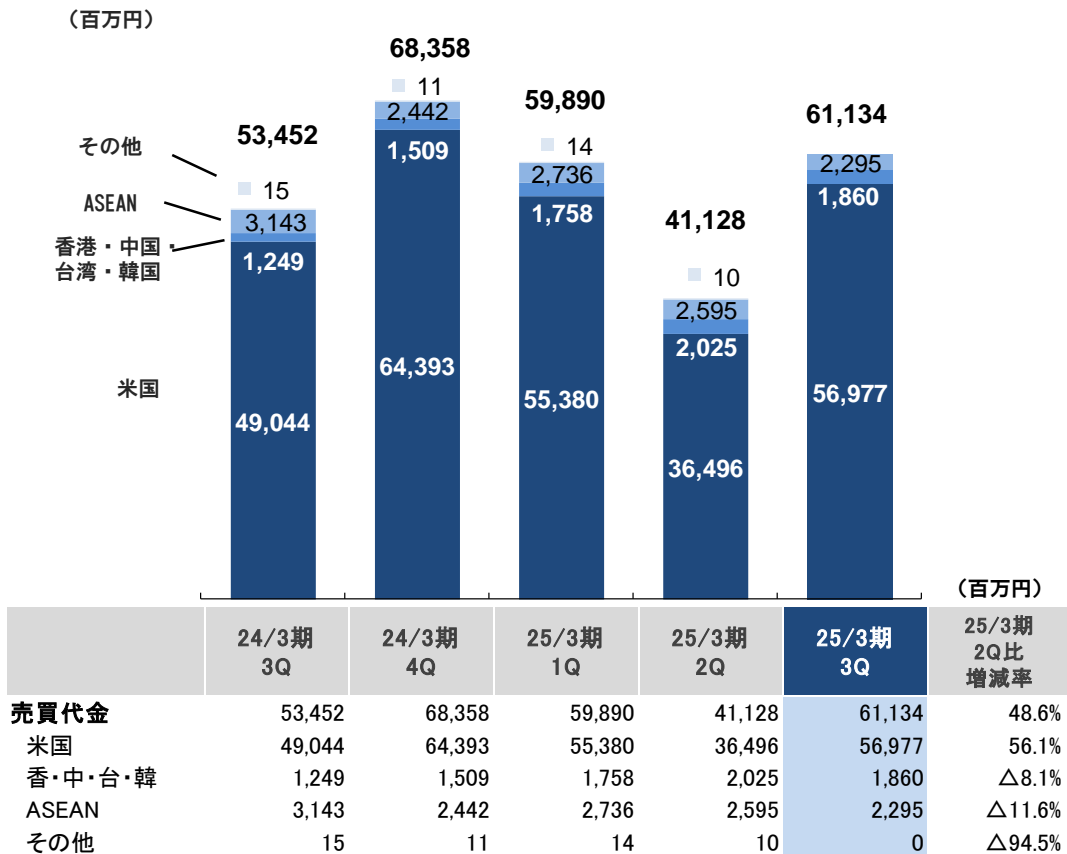
## ▶ ハイライト

外国株式の売買代金は、前四半期（2025年3月期第2Q）比48.6%増の611億34百万円となりました。  
 米国市場の売買代金は同56.1%増、香港・中国・台湾・韓国市場は同8.1%減、ASEAN市場は同11.6%減となりました。

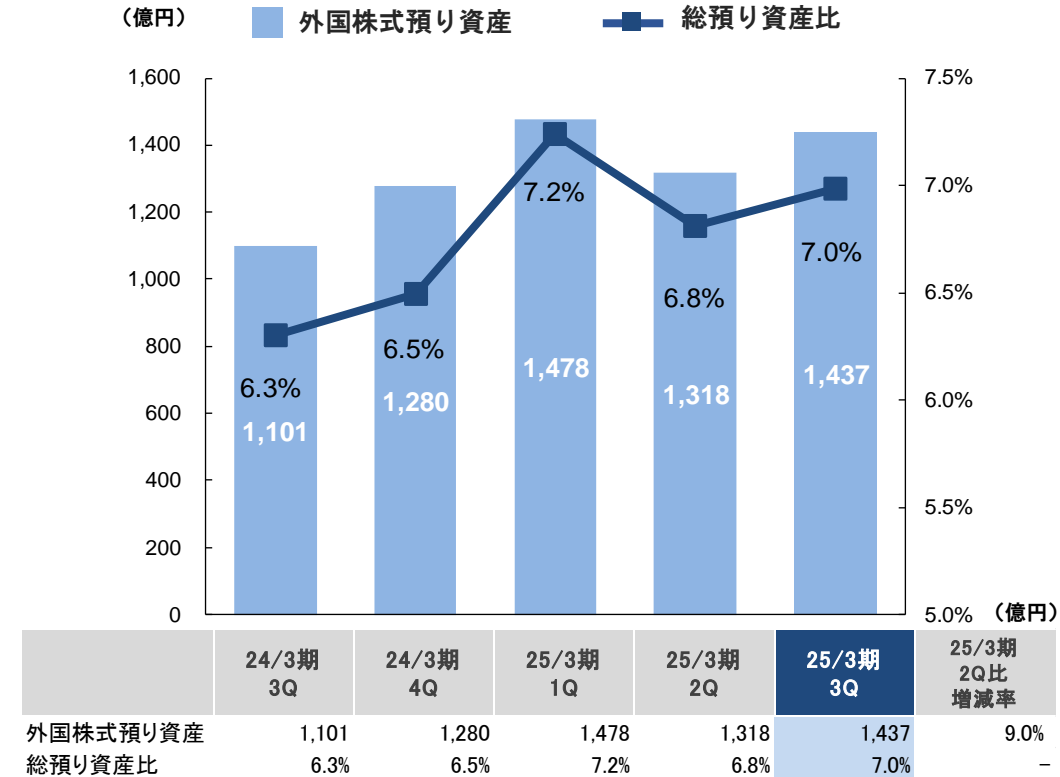
※ アジア市場の詳細は次ページをご参照ください。

外国株式の預り資産は同9.0%増の1,437億円となりました。

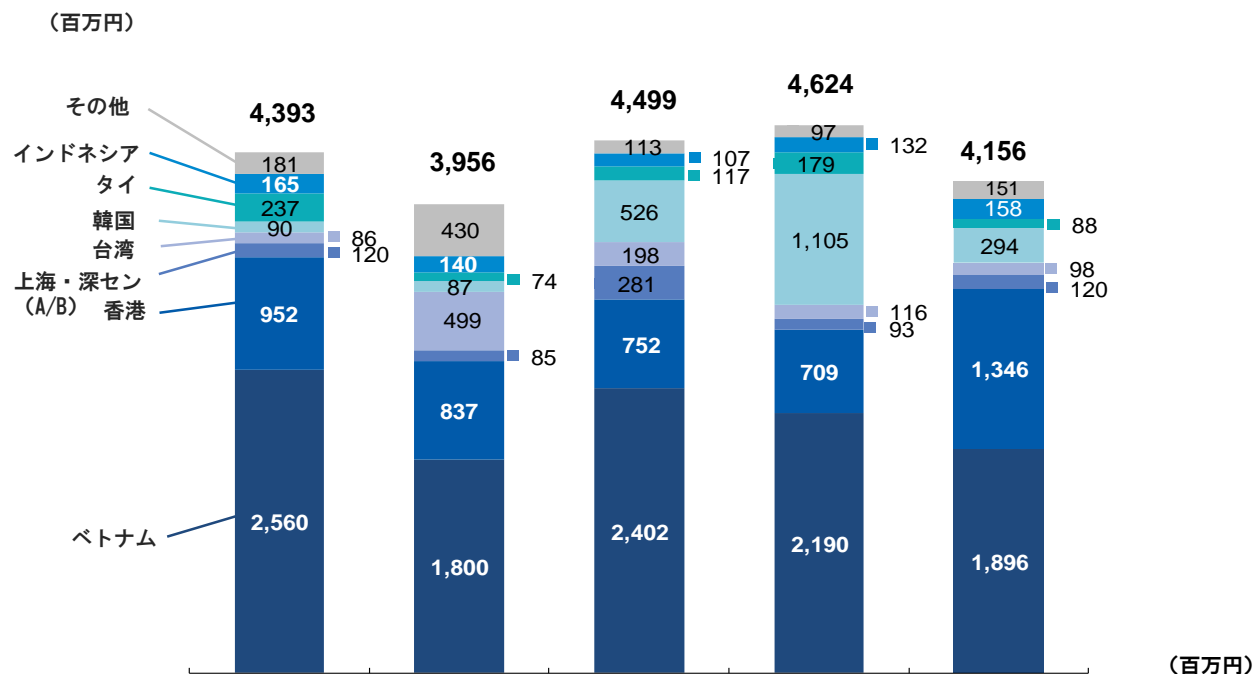
## ▶ 外国株式の売買代金の推移



## ▶ 外国株式の預り資産の推移



## ▶ アジア株式の売買代金の推移



	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 2Q比 増減率
売買代金	4,393	3,956	4,499	4,624	4,156	△10.1%
ベトナム	2,560	1,800	2,402	2,190	1,896	△13.4%
香港	952	837	752	709	1,346	89.8%
上海・深セン(A/B)	120	85	281	93	120	28.2%
台湾	86	499	198	116	98	△14.9%
韓国	90	87	526	1,105	294	△73.3%
タイ	237	74	117	179	88	△50.4%
インドネシア	165	140	107	132	158	20.2%
その他	181	430	113	97	151	55.1%

## ▶ ハイライト

### ▶ ベトナム市場

売買代金は前四半期（2025年3月期第2Q）比13.4%減。  
アジア株式売買代金のシェア45.6%（同47.4%）

### ▶ 香港市場

売買代金は同89.8%増。  
アジア株式売買代金のシェア32.4%（同15.3%）

### ▶ 韓国市場

売買代金は同73.3%減。  
アジア株式売買代金のシェア7.1%（同23.9%）

※主な各国指数のチャートはP.30～31をご参照ください。

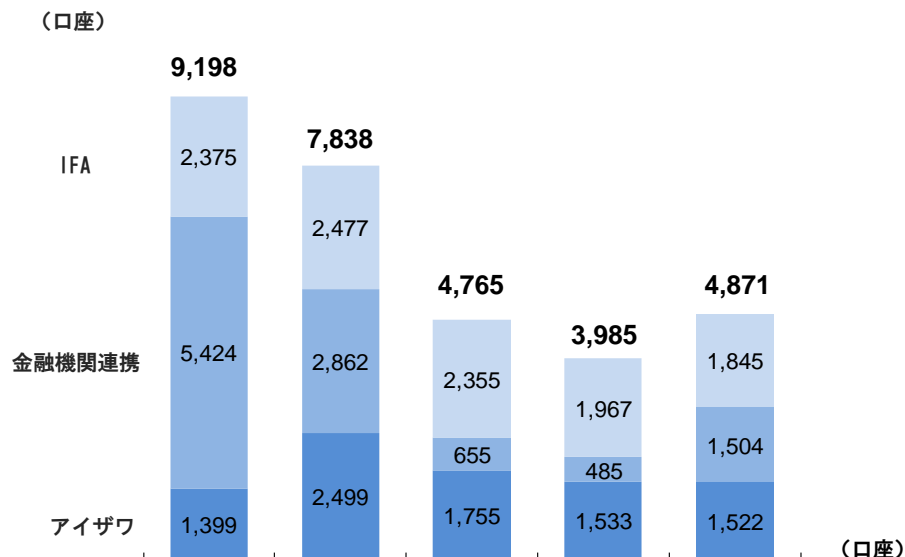
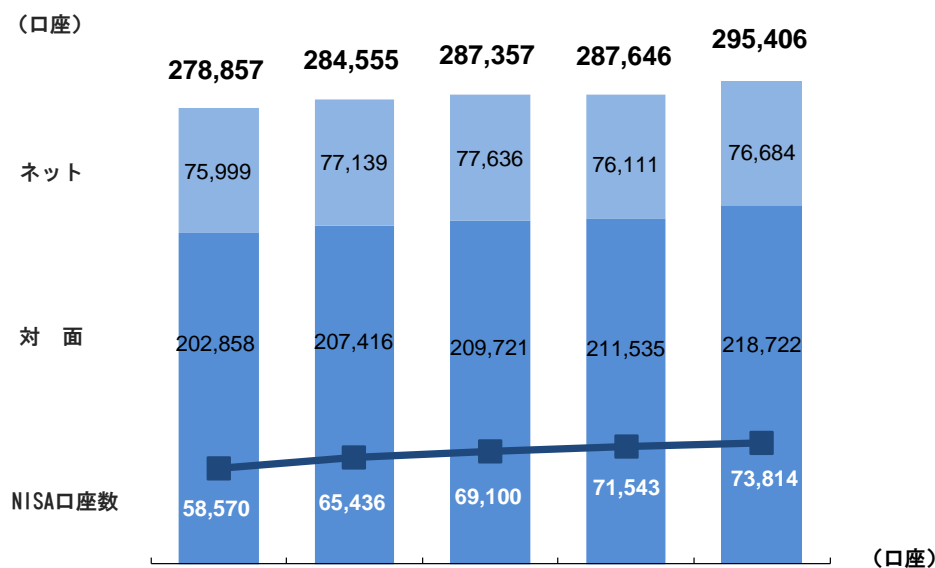
## ▶ ハイライト

総口座数は、前四半期（2025年3月期第2Q）比2.7%増の295,406口座となりました。

新規口座数は、IFAビジネスや金融機関連携（株式会社西京銀行と株式会社佐賀共栄銀行）を通じたプラットフォームビジネスの拡大により、4,871口座（同22.2%増）となりました。

## ▶ 総口座数の内訳とNISA口座数の推移

## ▶ 新規口座数の内訳と推移



	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 2Q比 増減率
総口座数	278,857	284,555	287,357	287,646	295,406	2.7%
└ 対面	202,858	207,416	209,721	211,535	218,722	3.4%
└ ネット	75,999	77,139	77,636	76,111	76,684	0.8%
NISA口座数	58,570	65,436	69,100	71,543	73,814	3.2%

	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 2Q比 増減率
新規口座数	9,198	7,838	4,765	3,985	4,871	22.2%
└ アイザワ	1,399	2,499	1,755	1,533	1,522	△0.7%
└ 金融機関連携	5,424	2,862	655	485	1,504	210.1%
└ IFA	2,375	2,477	2,355	1,967	1,845	△6.2%

※ ネット…インターネット取引「ブルートレード」

## ▶ ハイライト

国内株式委託手数料は前四半期（2025年3月期第2Q）比1.0%増、外国株式委託手数料は同80.0%増となりました。  
国内株式委託売買代金は同1.9%増、外国株式委託売買代金は同82.7%増となりました。

## ▶ 株式委託手数料の推移

	(百万円)						(委託手数料率)
	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期2Q比 増減率	25/3期 3Q
国内株式委託手数料	1,111	1,521	1,105	993	1,003	1.0%	0.27%
└ 対面	969	1,333	958	854	865	1.3%	0.46%
└ ネット	141	187	147	138	137	△1.0%	0.07%
外国株式委託手数料	281	380	333	288	518	80.0%	1.86%
└ 対面	230	320	270	230	456	98.0%	1.88%
└ ネット	51	59	63	58	62	8.3%	1.76%

## ▶ 株式委託売買代金の推移

	(億円)					
	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期2Q比 増減率
国内株式委託売買代金	3,594	5,218	4,075	3,668	3,737	1.9%
└ 対面	1,590	2,265	1,790	1,690	1,896	12.2%
└ ネット	2,003	2,953	2,285	1,977	1,841	△6.9%
外国株式委託売買代金	148	216	175	152	278	82.7%
└ 対面	118	182	139	117	242	106.1%
└ ネット	29	33	36	34	35	3.2%

※ ネット… インターネット取引「ブルートレード」  
※ 株式委託手数料にETFは含まれておりません。



## ▶ 2024年12月末現在の 自己資本規制比率

# 319.8%

自己資本規制比率とは、証券会社所有のリスクのある資産（有価証券、取引先債権など）に対し、自己資本（株式資本や劣後ローンなどの合計額から固定資産を差し引いたもの）がどれだけあるかを示した数値です。

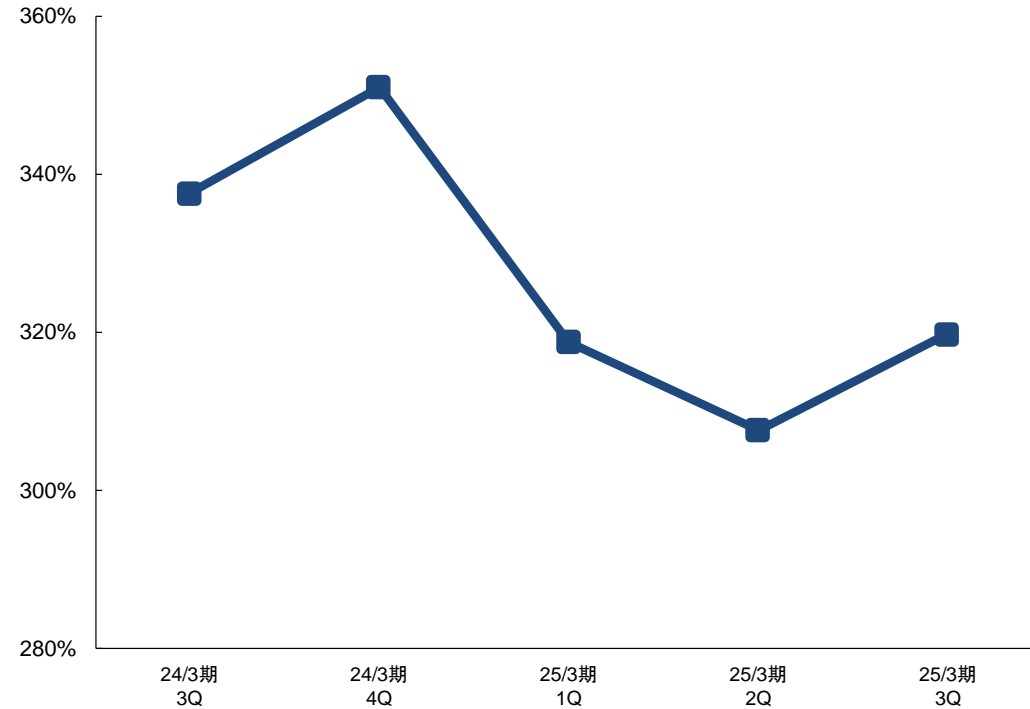
そのパーセンテージが高いほど経営の安全性が高く、証券会社を見分けるための最適の尺度といわれています。

当社はこの自己資本規制比率が319.8%です。

（2024年12月末現在）

アイザワ証券は、常に安全性を追求しております。

## ▶ 自己資本規制比率推移



### <注記>

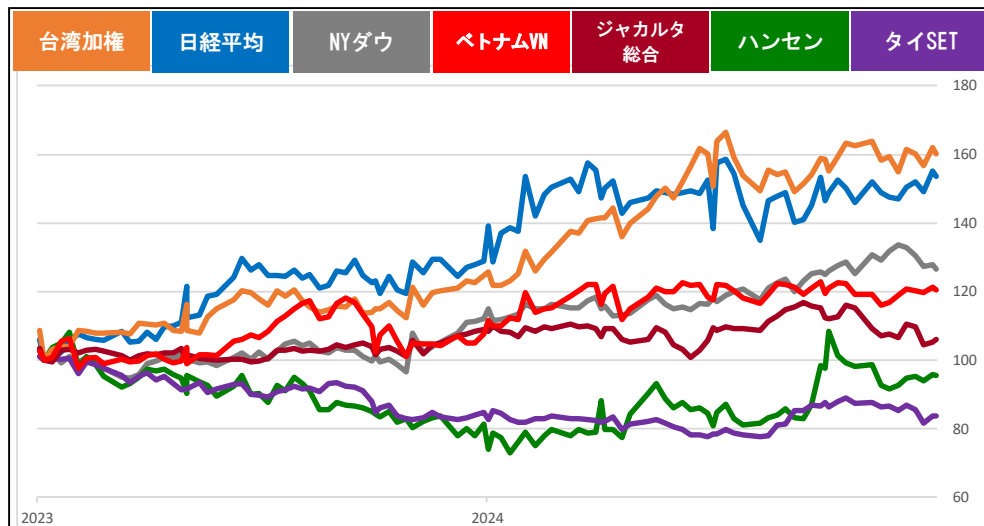
右表は、金融商品取引法第46条の6第3項（外国証券業者に関する法律第20条）の規定に基づく自己資本規制比率を記載した書面であり、3月、6月、9月及び12月末日の状況を、当該末日から1ヶ月を経過した日から3ヶ月間、全ての営業所（外国証券会社にあっては全ての支店）に備え置き、公衆の縦覧に供することとされております。

	(百万円)				
	24/3期 3Q	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q
自己資本規制比率(C/G×100)(%)	337.6%	351.0%	318.8%	307.6%	319.8%
固定化されていない自己資本の額(C)	13,817	14,260	14,593	14,398	14,566
リスク相当額合計(G)	4,091	4,061	4,576	4,679	4,554
市場リスク相当額	129	59	117	67	62
取引先リスク相当額	671	705	1,037	1,108	984
基礎的リスク相当額	3,290	3,296	3,420	3,503	3,507



(各グラフ期間：2023年1月1日～2024年12月31日、週足)

▶ 2023年1月1日を100とした各国指数比較



当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日～12月31日まで）において、世界株式市場は堅調な米国経済とFRBによる利下げ開始、中国の大規模景気対策などを背景に米国と中国の株価上昇が目立った一方、日本とASEANの株価はやや伸び悩みました。

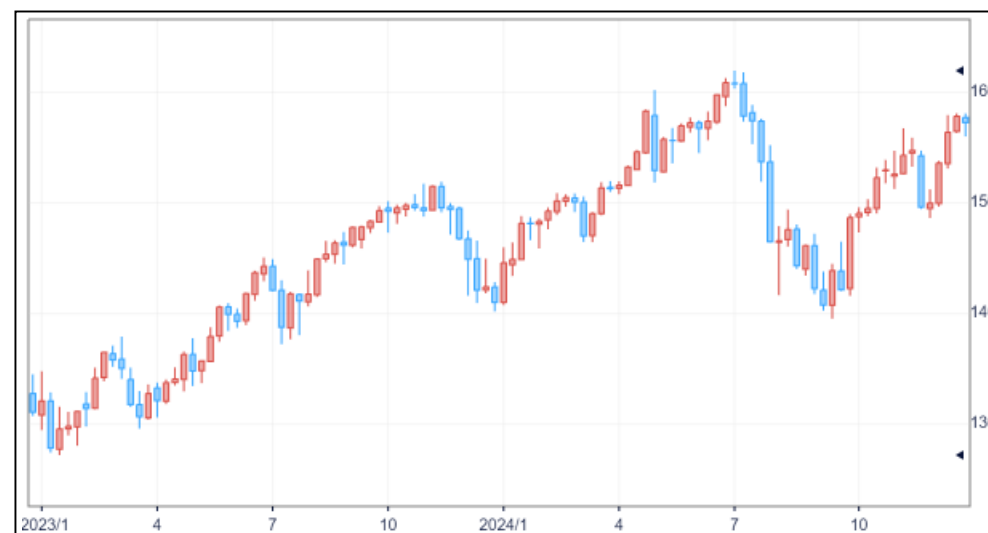
米国株式市場は、生成AI関連の投資拡大やトランプ次期政権への期待により、NYダウ、S&P500、ナスダック総合の3指数は史上最高値を更新しました。国内株式市場は、脱デフレ期待と賃上げ、円安、不安定な海外情勢等の強弱材料により、4月～12月までの日経平均株価の期間騰落率は-1.2%となり、一時3万1000円台まで急落したあと4万円近辺まで値を戻すなど足元株価回復基調となっています。

アジア株式市場の中で、中国は政府当局が発表した大規模な景気対策により、上海総合指数と香港ハンセン指数は大きく上昇しました。一方ASEANはドル高・アジア通貨安と米国との貿易リスクに対する警戒感が高まり、ベトナムとインドネシア、タイ、フィリピンなど域内主要国の株価指数は軟調に推移しました。

▶ 日経平均

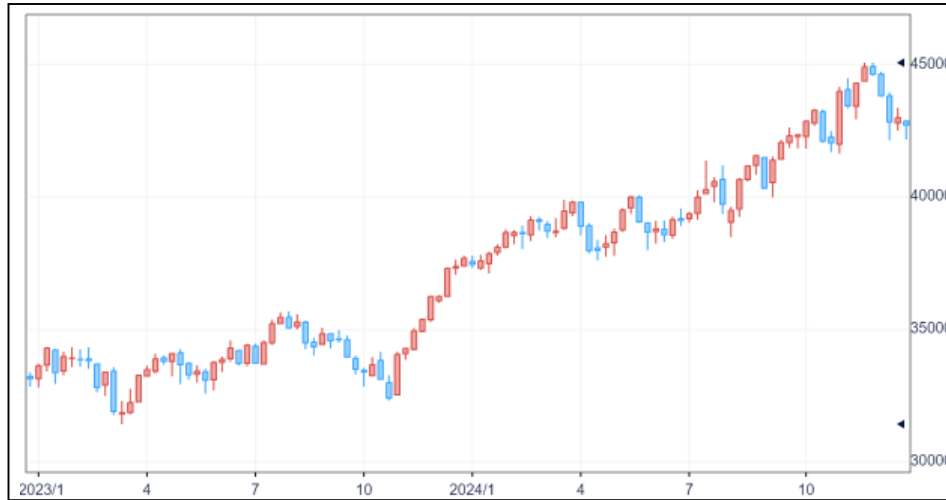


▶ 米ドル/円レート

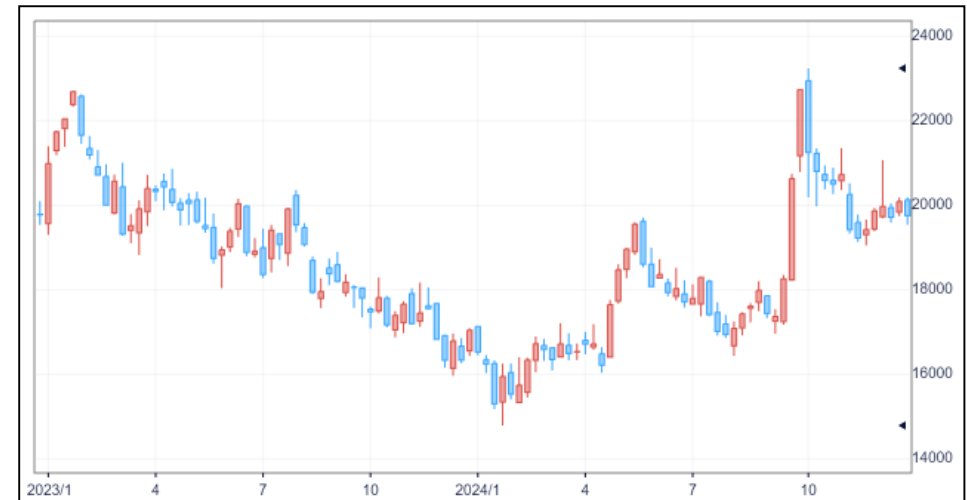


(各グラフ期間：2023年1月1日～2024年12月31日、週足)

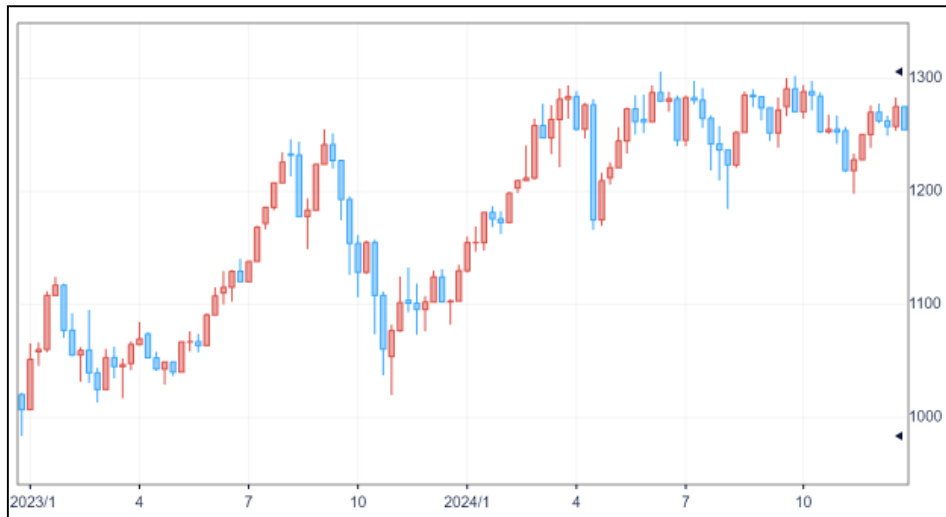
## ▶ NYダウ平均株価



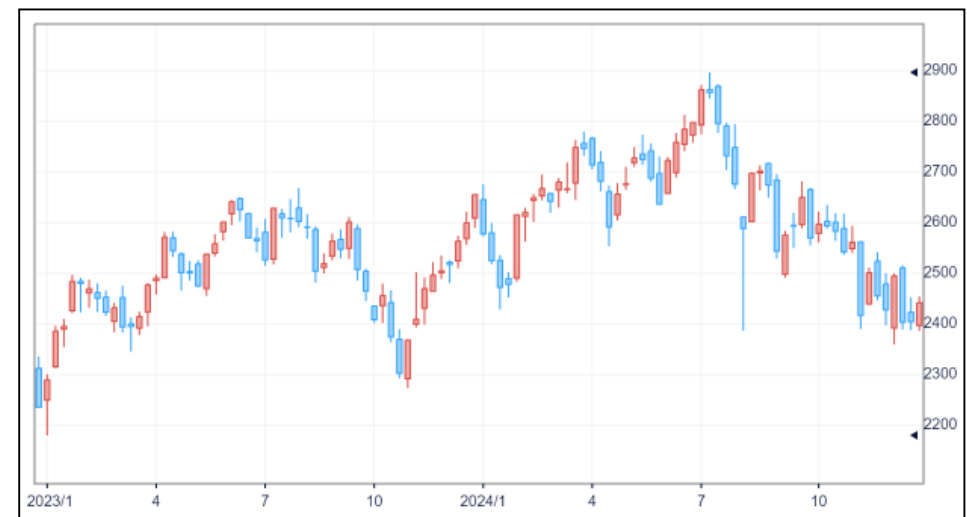
## ▶ 香港ハンセン指数



## ▶ ベトナムVN指数



## ▶ 韓国総合指数



本資料は、2025年3月期第3四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は2024年12月末日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

## ≡ アイザワ証券グループ

AIZAWA SECURITIES GROUP CO., LTD.

商号：アイザワ証券グループ株式会社  
本社：東京都港区東新橋1-9-1

### お問合せ先

アイザワ証券グループ株式会社 経営企画部

E-MAIL：ir@aizawa-group.jp

URL：https://www.aizawa-group.jp/